
日本経済展望

2015年4月



調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/report/medium/publication/japan>

目次

◆現状	p. 1
◆景気分析	p. 4
◆見通し	p. 9
◆金利動向	p. 10
◆内外市場データ	p. 11

調査部 マクロ経済研究センター（国内経済グループ）

●総括、ファンダメンタルズ全般	下田 裕介	(Tel: 03-6833-0914 Mail: shimoda.yusuke@jri.co.jp)
●家計部門、雇用賃金	小方 尚子	(Tel: 03-6833-0478 Mail: ogata.naoko@jri.co.jp)
●物価、金融	村瀬 拓人	(Tel: 03-6833-6096 Mail: murase.takuto@jri.co.jp)
●企業部門、外需	菊地 秀朗	(Tel: 03-6833-6228 Mail: kikuchi.hideaki@jri.co.jp)
●ファンダメンタルズ（現状分析）	嘉田 直記	(Tel: 03-6833-9061 Mail: kada.tp20507@jri.co.jp)

◆本資料は2015年4月2日時点で利用可能な情報をもとに作成しています。

概況：個人消費が緩やかに持ち直すなど、総じて回復基調

現状

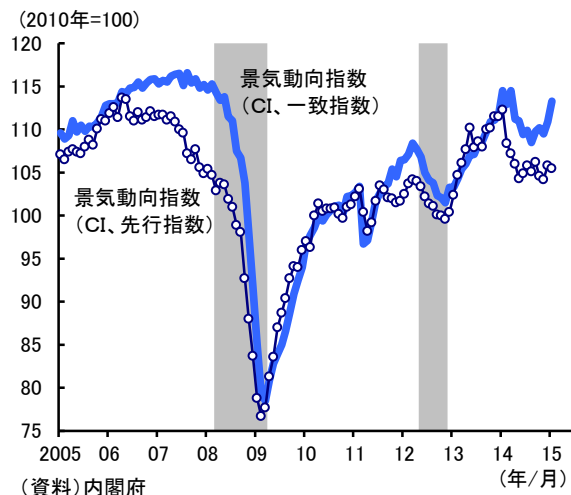
景気分析

見通し

金利動向

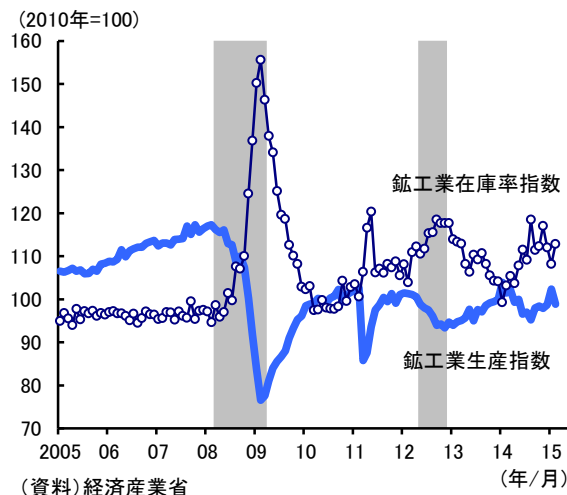
景気

株価の下落や実質機械受注の減少などを
受けて先行指数は2ヵ月ぶりの低下



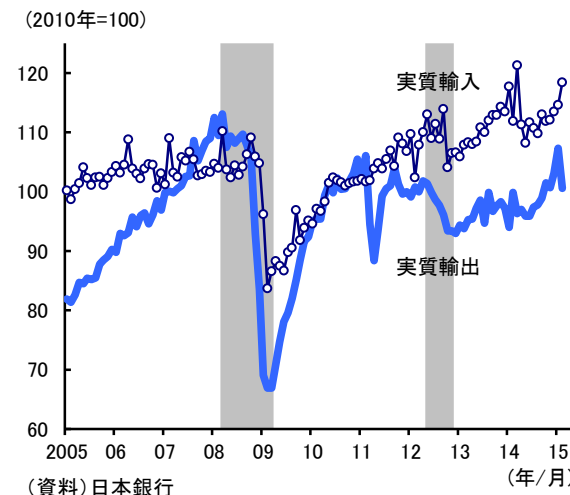
企業

生産指数は幅広い業種で低下
在庫率指数は3ヵ月ぶりの上昇



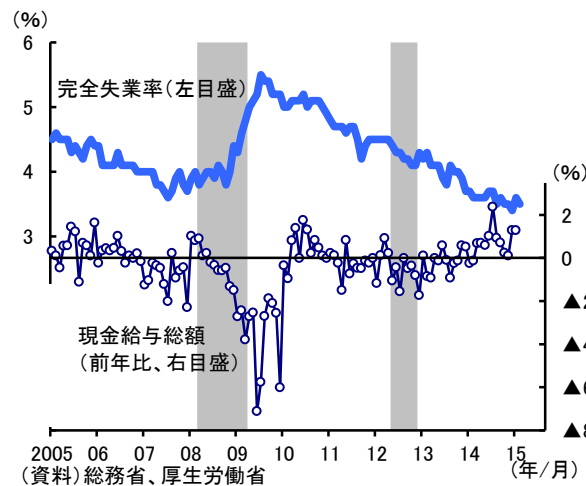
外需

輸出は中国向けなどを中心に減少
輸入は4ヵ月連続で増加



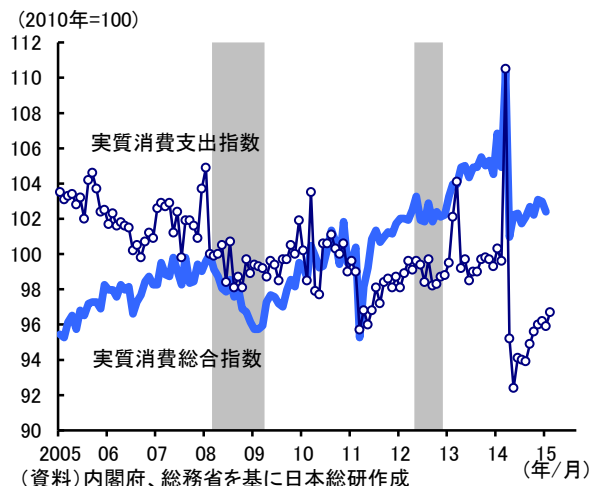
雇用所得

完全失業率は2ヵ月ぶりに前月比低下し、
良好な水準を維持



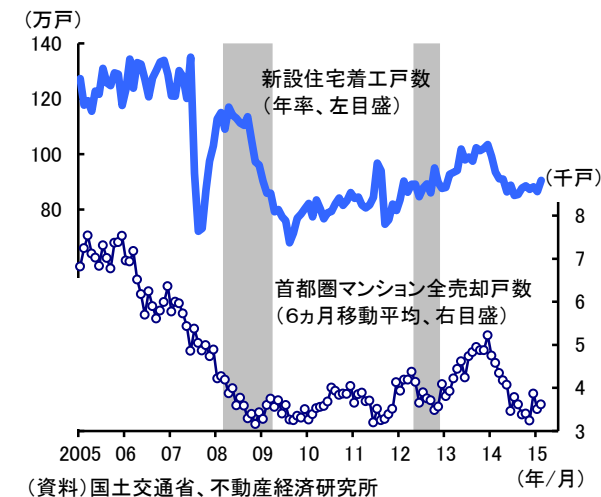
消費

消費は実質支出が2ヵ月ぶりに増加する
など、緩やかながらも持ち直し基調



住宅

住宅着工、マンション販売ともに一進一退
の動き



※シャドー部は景気後退期

企業収益の改善などを背景に、景気は緩やかな回復基調

現状

景気分析

見通し

金利動向

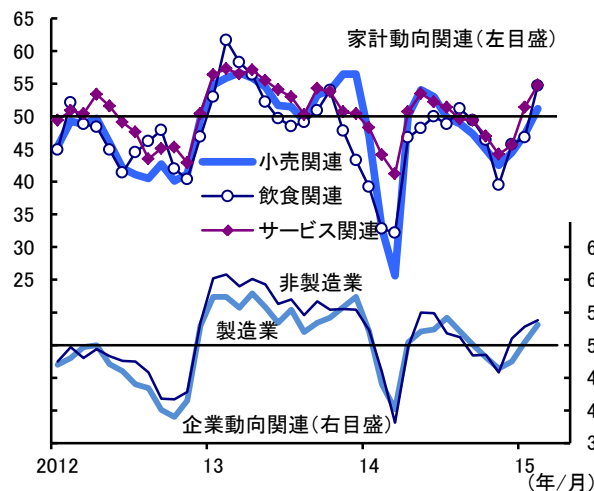
わが国景気は、緩やかな回復傾向が持続。2月の景気ウォッチャー調査では、原油安や低金利など良好な企業経営環境の持続や、消費者マインドの持ち直しを背景に、家計および企業動向関連の現状判断DIが持ち直すとともに、先行き判断DIはいずれも良し悪しの分かれ目となる50を超える水準に回復。

家計部門では、消費者マインドの改善を背景に、小売業販売額が持ち直したほか、2月の実質消費支出も前月比+0.8%と2ヵ月ぶりに増加。個人消費は消費増税後の落ち込みから抜け出しつつある状況。

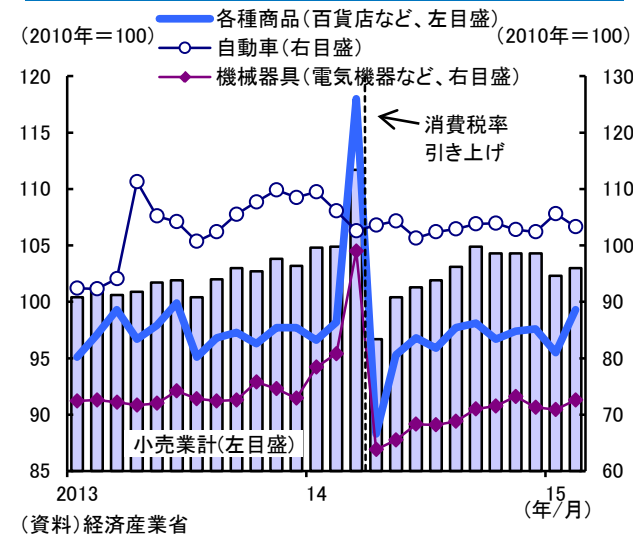
企業部門では、2月の生産が前月の高い伸びの反動からマイナスに転じたものの、なお高い水準を維持。予測指数によると、3月も小幅減産が続くものの、4月は大幅な増産が見込まれており、先行きは総じて回復基調が続く見込み。

一方、外需では、2月の実質輸出が減少。春節前に大きく増加した中国向けが大幅減少となったほか、米国、EU向けなども減少。

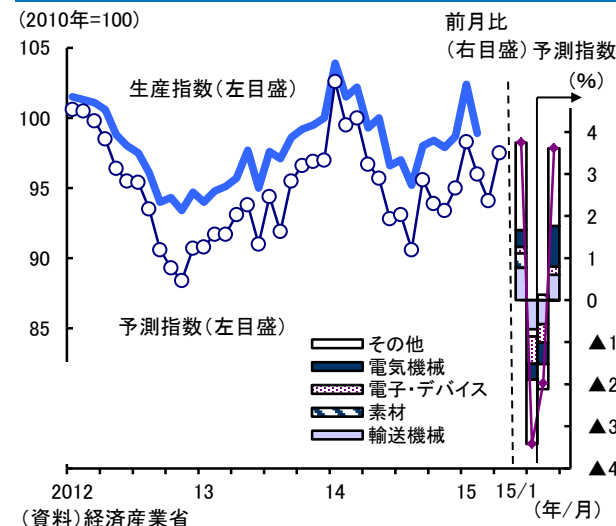
景気ウォッチャー調査(先行き判断DI)



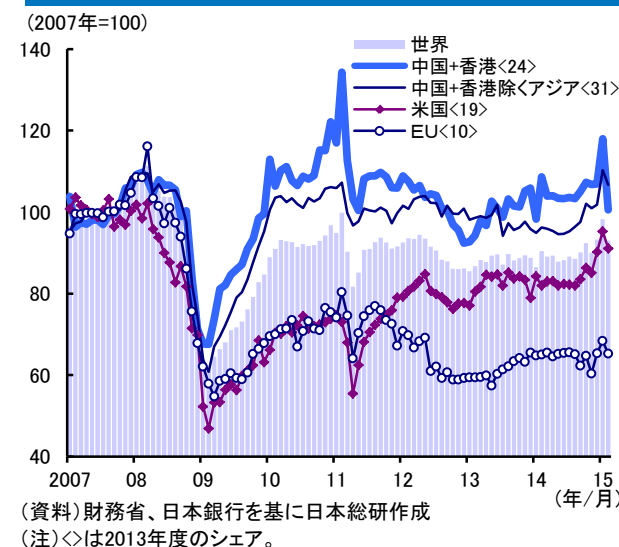
小売業販売額指数(季調値)



鉱工業生産指数(季調値)



実質輸出(季調値)



日銀短観：景況感は高水準で推移、設備投資計画も堅調

現状

景気分析

見通し

金利動向

3月の業況判断DIは、全規模・全産業で+7%ポイントとなり、前回(12月)調査対比+1%ポイントの小幅改善。

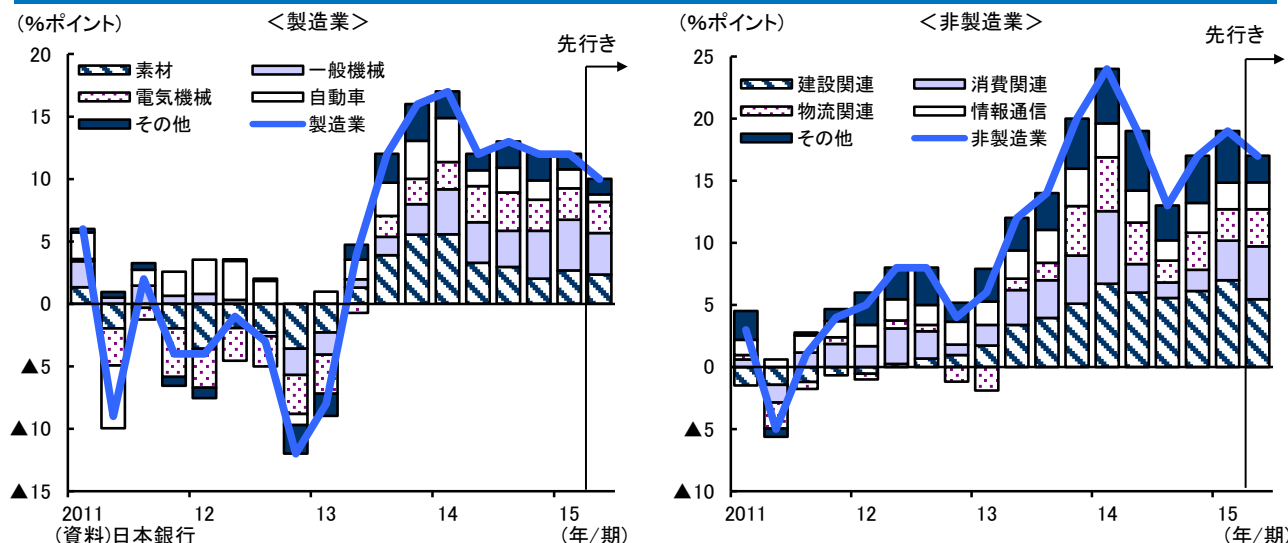
大企業・製造業では、前回調査で円安によるコスト増懸念から悪化した素材業種が、円安一服、原油安などを受け持ち直す一方、機械業種はほぼ横ばいとなり、全体では変わらず。大企業・非製造業では、小売など消費関連が大きく改善し、前回調査対比+2%ポイントの上昇。

中堅、中小企業については、製造業が悪化する一方、非製造業が改善。賃上げを受けた消費の持ち直しや原油安が、内需関連の改善に作用。

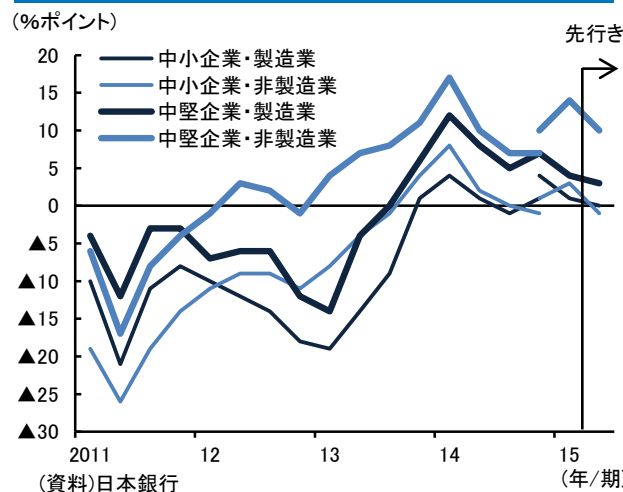
先行きは、規模や業種を問わず総じて悪化が見込まれているものの、引き続き高水準を維持する見込み。

2015年度の大企業の設備投資計画は、製造業が期初としては高めとなる一方、非製造業は慎重な計画。もっとも、期を追うごとに伸びが高まった14年度の反動の面も。低金利など、良好な投資環境を踏まえれば、維持・更新、合理化・省力化を中心に、設備投資は底堅く推移する見込み。

大企業の業況判断DI



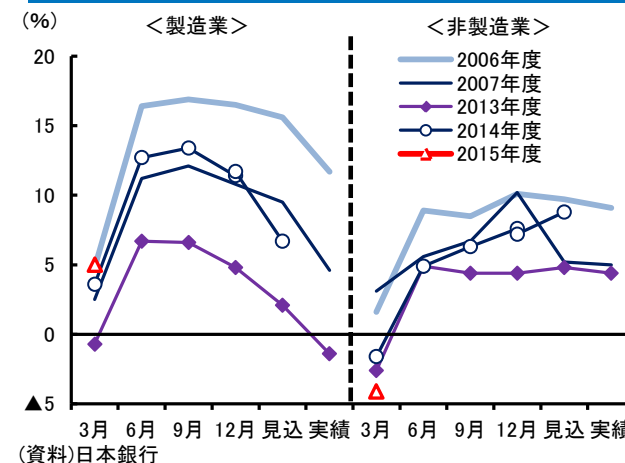
中堅・中小企業の業況判断DI



(資料)日本銀行

(注)14年12月調査は調査対象企業の見直しにより、新ベースと旧ベースのデータを併記。

設備投資額の足取り(大企業、前年度比)



(資料)日本銀行

(注)土地投資額を含み、ソフトウェアを含まない。
14年12月調査は調査対象企業の見直しにより、新ベースと旧ベースのデータを併記。

輸出は増加の兆しも、緩慢なペースにとどまる見込み

現状

景気分析

見通し

金利動向

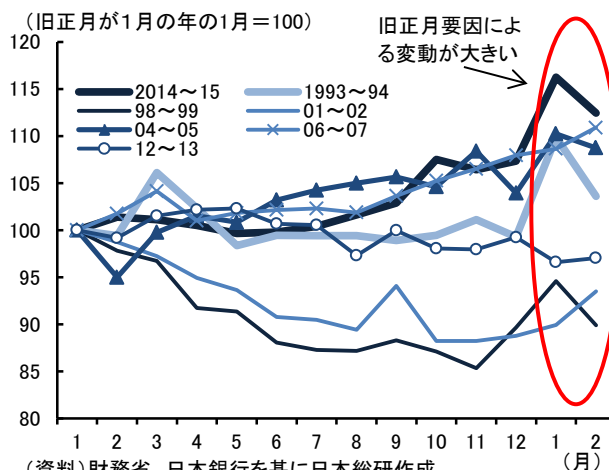
外需では、実質輸出が昨年秋以降、増加基調。足許では、1月に大幅増の後、2月は減少。旧正月の影響が中国向けだけでなく、中国を除くアジア向け輸出においても、季節調整で除去しきれっていない公算が大。均してみれば、実質輸出の増勢は緩やかと判断可能。

品目別にみると、昨年秋以降の増加において寄与が最も大きいのは「その他」。「その他」をさらに細かい品目でみると、再輸出品と金が大きく押し上げ。これら2品目は国内生産に伴う付加価値を生まないため、輸出の景気押し上げ効果は限定的となる公算。

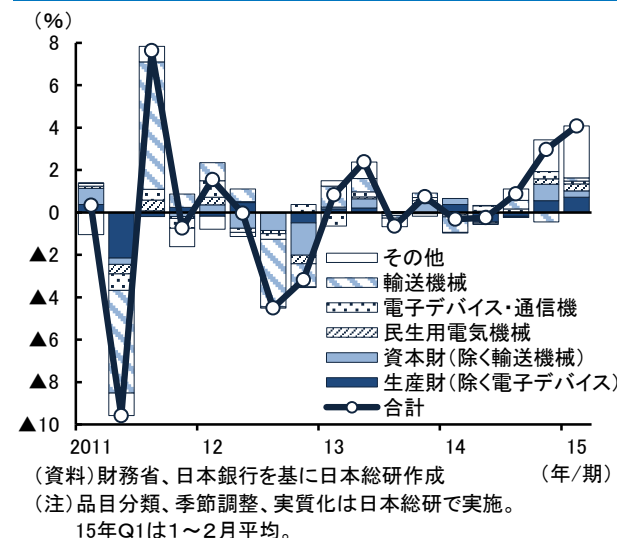
先行きを展望すると、為替面では、円安が当面輸出を下支え。ただし、足許では生産拠点の一部国内回帰の動きが散見されるものの、国内では高付加価値製品の生産に特化する動きが強まっており、輸出数量へのインパクトが大きい汎用品については、海外現地生産の流れに変化は生じない見込み。

需要面では、景気の底堅い米国が牽引役となる一方、中国をはじめ新興国の景気減速が重石となり、世界景気の持ち直しペースは力強さを欠く状況が持続。輸出は外需の緩やかな回復に見合った増加ペースにとどまる見込み。

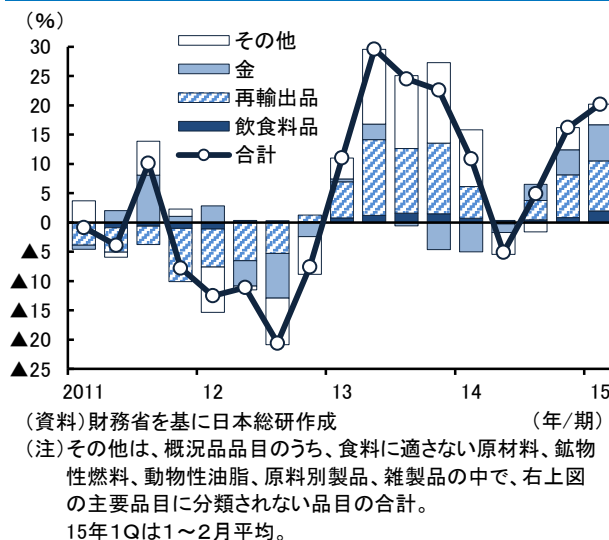
中国除くアジア向け実質輸出(季調値)



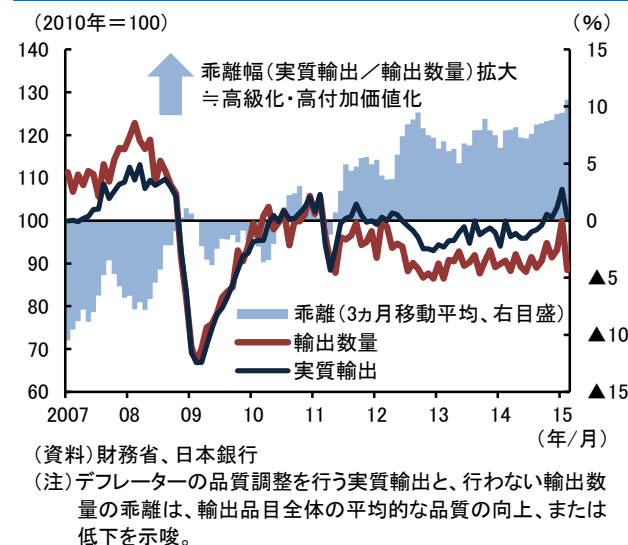
実質輸出(前期比)の品目別寄与度



名目その他輸出の内訳(季調値、前期比)



実質輸出と輸出数量(季調値)



円安・原油安を受けて企業収益は改善基調が持続

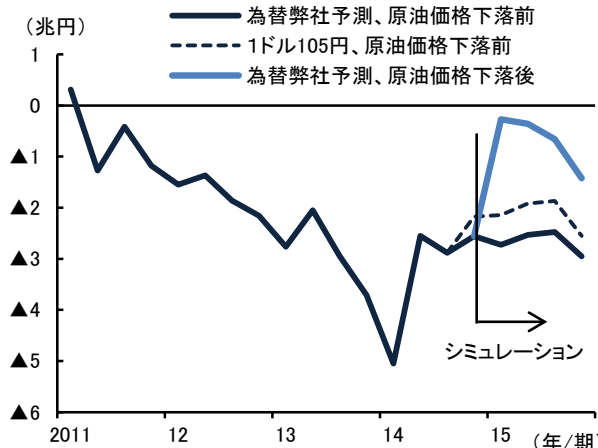
輸出の緩やかな増加が見込まれる一方、円安による輸入価格上昇という副作用を原油安が相殺し、通関輸入額は減少。足許の原油安が定着すれば、今年の貿易赤字は大幅に縮小する見通し。こうした所得流出の減少は企業収益にプラスに作用。

また、企業の対外資産の増加に、円安に伴う額面嵩上げ効果も加わり、配当や利子などにあたる第一次所得収支は、黒字が過去最大にまで拡大。

これまでのリストラなどを通じた収益体質強化に加え、円安・原油安の追い風を受け、企業収益は改善基調が持続。2014年10～12月期の法人企業統計をみても、売上高経常利益率は過去最高水準で推移。

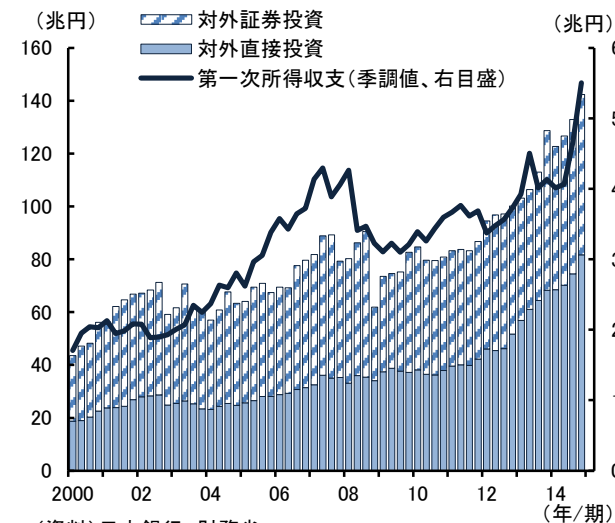
国内市場の低成長懸念など、マイナス要因も残存するものの、潤沢なキャッシュフローや低金利など、良好な投資環境が整うなか、設備投資は持ち直しに向かう見通し。

通関貿易収支(試算)



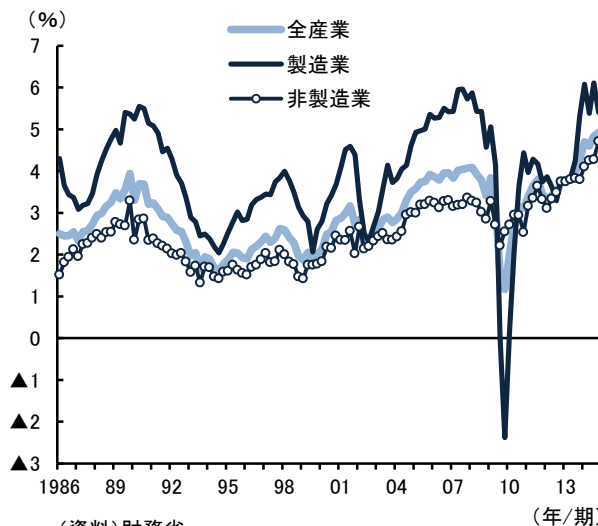
(資料)財務省、マクロモデルシミュレーションを基に日本総研作成
(注)既往の生産・輸出構造の変化を踏まえ、為替が輸出数量に与える影響を無効化し試算。

法人企業の対外資産残高と第一次所得収支



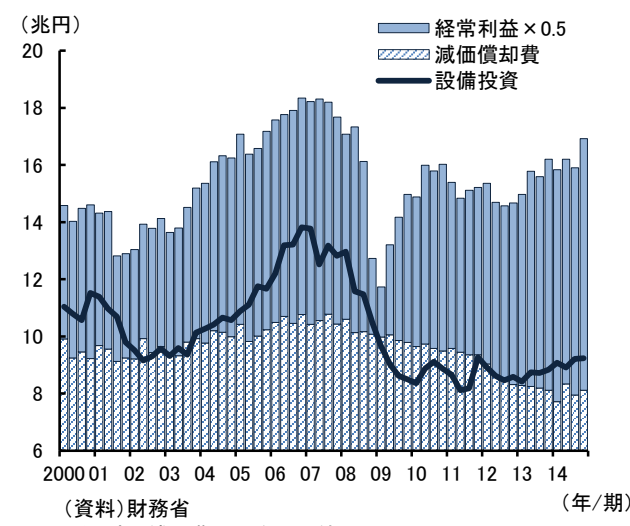
(資料)日本銀行、財務省

法人企業の売上高経常利益率(全規模)



(資料)財務省

法人企業の設備投資額とキャッシュフロー



(資料)財務省

(注)減価償却費は独自季調値。

賃金増や原油安が消費にプラス

現状

景気分析

見通し

金利動向

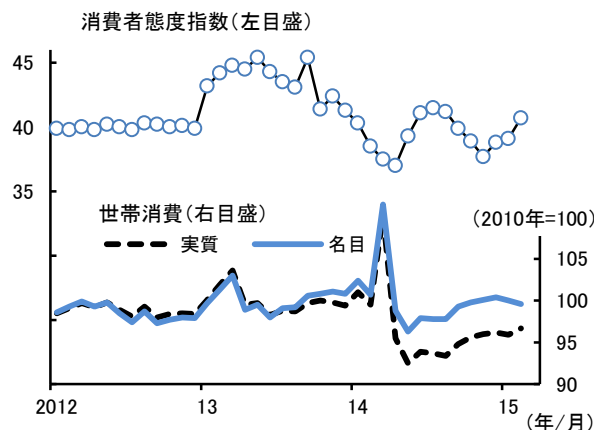
家計部門では、消費税率引き上げ以降、物価上昇に伴う実質所得の減少を背景に、個人消費の回復にもたつき。もっとも、消費増税後の反動減の影響が一巡しつつあるなか、足許では、消費者マインドに持ち直しの動き。

2015年度入り後には、緩やかな消費の回復基調が明確化する見通し。まず、実質所得が小幅増加に転じる見通し。本年の春闘では、企業収益の改善が続くなか、昨年をやや上回る賃金上昇を実現した企業が増加。さらに雇用環境の改善も持続する見込み。物価も、消費増税の影響剥落に加え、原油価格下落の影響顕在化を受け、騰勢が鈍化し、実質所得押し上げに寄与。

株価も企業収益の好調を背景に上昇基調を維持。仮に足許の株価水準が維持されれば、家計部門の株式評価益は、2015年年間で40兆円程度にのぼる見込み。このため、株式保有世帯を中心に個人消費に資産効果が期待される状況。

また、高齢者については、2015年度の国民年金給付額が、+0.9%と3年ぶりに増加。足許の物価下振れで、当面、実質給付額のマイナスが解消され、消費の下支えに作用する見込み。

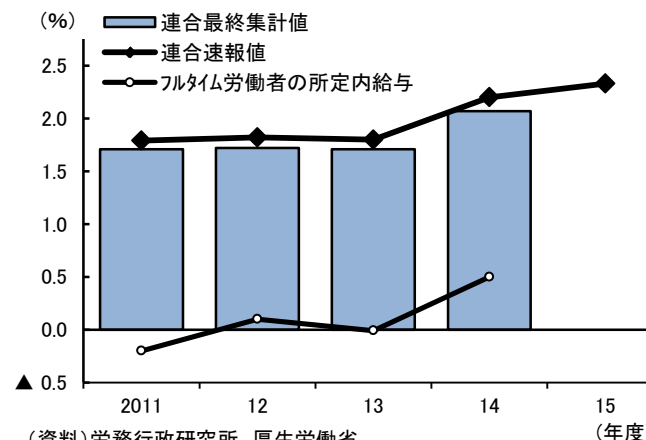
消費者マインドと消費支出の推移(季調値)



(資料)内閣府、総務省

(注)消費者態度指数は、2013年3月分より調査方法を「訪問調査」から「郵送調査」に変更。世帯消費は二人以上世帯。

春闘賃上げ率と所定内給与(前年比)

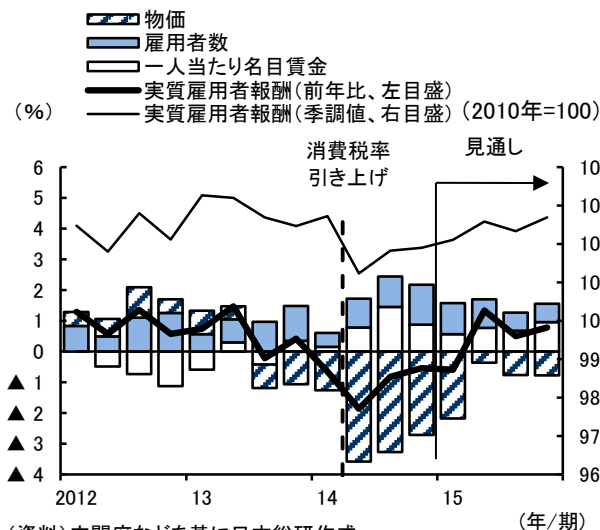


(資料)労務行政研究所、厚生労働省

(注1)2014年度の所定内給与は2014年4月～2015年1月。

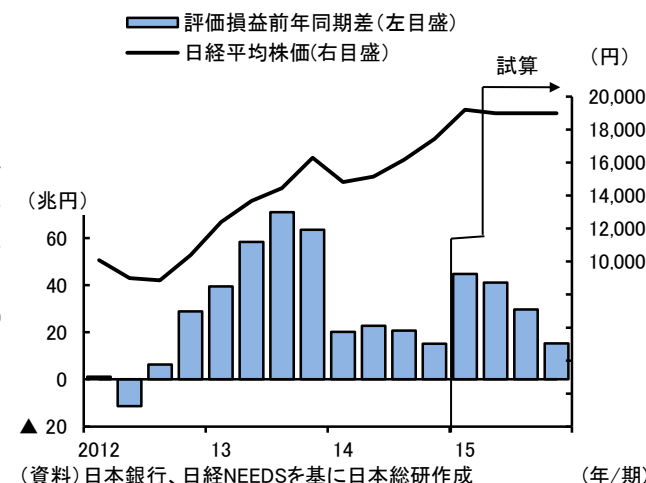
(注2)賃上げ率速報値は2015/3/31の第3回集計と過去の同時期の集計。

実質雇用者報酬(前年比)



(資料)内閣府などを基に日本総研作成

株価と家計部門の株式評価益(前年差)



(資料)日本銀行、日経NEEDSを基に日本総研作成

(注)予測は、日本総研の名目GDP予測と、日経平均株価が19,000円で推移する前提に基づく。

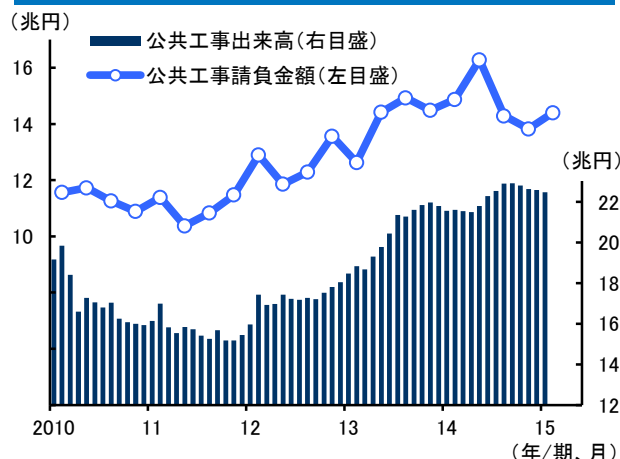
景気対策が当面景気にプラスも、財政再建は後退

一方、公的部門では、公共投資に先行性を有する請負金額が、昨年春をピークに減少に転じるなか、公共投資の増勢は一服。

もっとも、今後は2月に成立した約3.5兆円の経済対策が景気を下支え。財務省の発表内容を基に効果を試算したところ、2015年度の実質GDPを+0.4%ポイント押し上げることに。ただし、公共投資では、人材のボトルネックや建設コストの高止まりなどが続いており、効果が後ずれる可能性。

一方、財政面では、10月に予定されていた消費税率10%への引き上げが延期されたことで、消費増税を前提とした財政再建に暗雲。増税延期により消費税収が想定よりも大幅に下振れるため、国・地方のプライマリーバランスは悪化。さらに、消費税収の増加分を充てることになってきた子育て、医療・介護、年金などを中心とする社会保障の充実・安定化も後退。

公共工事の請負金額と出来高（年率、季調値）



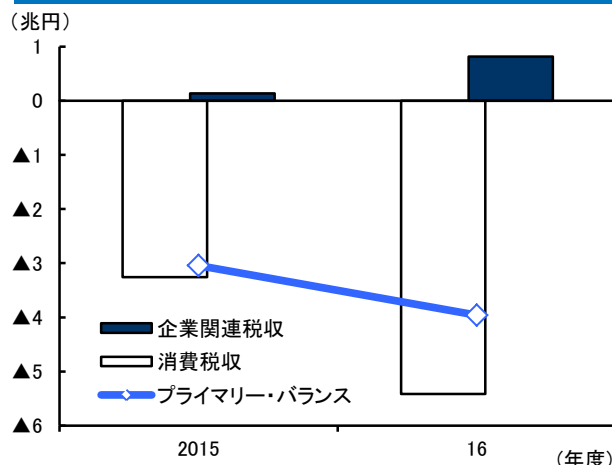
(資料)建設業信用保証(北海道、東日本、西日本)、国土交通省を基に日本総研作成
(注)請負金額の直近は、2015年1～2月分実績値。

2014年度補正予算による経済対策効果（試算）

	事業項目	予算規模 (億円)	経済効果 (億円)
消費者向け	生活支援型交付金、住宅市場活性化等	4600	1840
企業投資向け	中小企業資金繰り支援、エネルギーコスト対策等	9300	7716
公的支出、公共事業	地方活性化交付金、復興事業	21300	15414
合計		35200	24970
乗数をかけた実質GDP押し上げ幅(%)			0.4

(資料)財務省、首相官邸等を基に日本総研作成
(注1)消費者向け、企業投資向けは同額の所得減税、法人減税とみなし、マクロモデルから試算。
(注2)経済効果は、過去の経済対策を参考に、予算規模のうち、実際に支出を押し上げる額を想定。

増税延期に伴う税収面への影響（試算）



(資料)財務省、内閣府などを基にマクロモデルシミュレーション
(注)2015年10月に消費税率の再引き上げ(8%→10%)が予定通り実施された場合のベースラインからのかい離額を表示。

増税延期で見直された主な社会保障メニュー

	当初予算	見直し後
【子育て】	0.7兆円	0.5兆円
・子育て支援の総合的推進と充実		予定通り実施
・待機児童解消に向けた取り組み		予定通り実施
【医療・介護】	1.5兆円	0.9兆円
・職員待遇の改善などサービス提供体制の改革		予定通り実施
・医療保険制度の財政安定化など保険制度の改革		一部を実施
・難病などに係る公平かつ安定的な制度の確立		予定通り実施
【年金】	0.6兆円	—
・低所得高齢者への給付増		先送り
・受給に必要な加入期間の短縮		先送り

(資料)内閣官房、各種報道を基に日本総研作成

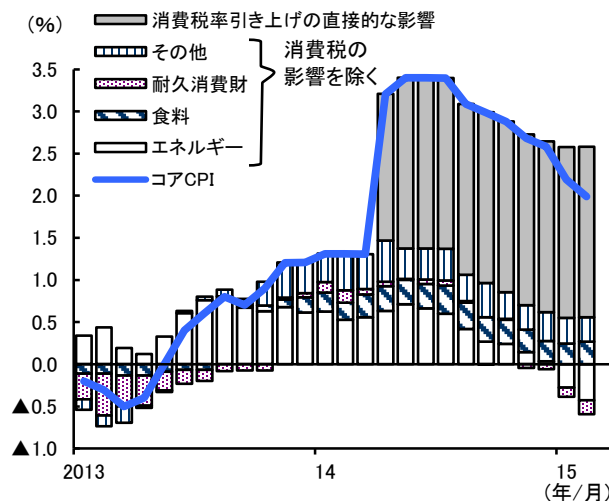
円安の影響顕在化に従い、物価は再び騰勢が明確化

2月のコアCPIは、消費税の影響を除くベースで前年比横ばいと、昨年4月をピークに騰勢鈍化が持続。足許では、消費増税の影響などによる需給環境の改善の遅れに加え、原油価格の大幅な下落が物価下押しに作用。

一方、昨年秋以降の円安進行は、輸入コストの上昇を通じ物価押し上げに作用。また円安による企業収益の改善が設備投資や家計所得の増加につながれば、需給環境の改善を通じて物価上昇圧力として作用する公算。円安の影響が消費者物価に波及するには、半年以上の期間を要するとみられることから、当面は、原油安の影響により消費者物価の伸び悩みが続くとみられるものの、円安の影響が顕在化するに従い、消費者物価は再び騰勢が明確化する見込み。

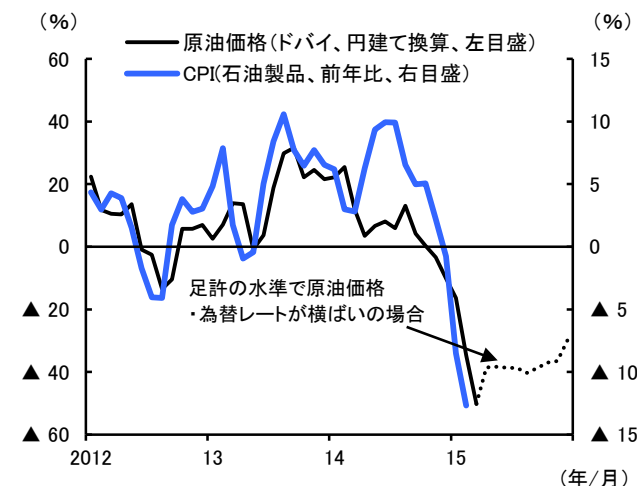
もっとも、「2%での持続的な物価の安定」という日銀の目標達成には、インフレ期待の上昇を通じ物価上昇率が安定的に高まることが不可欠。家計や企業のインフレ期待は、実際の物価上昇率から受ける影響も大きいとみられることから、インフレ期待の上昇には物価上昇ペースが再加速していくことが確認される必要。物価目標の達成には、時間を要する見込み。

コアCPIの寄与度分解(前年比)



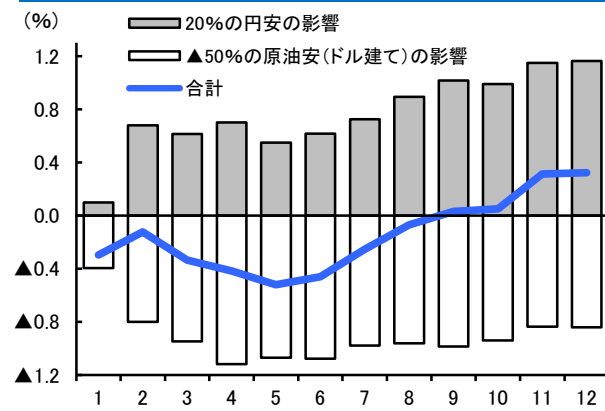
(資料)総務省を基に日本総研作成

原油価格とCPI石油製品



(資料)総務省、日本銀行などを基に日本総研作成

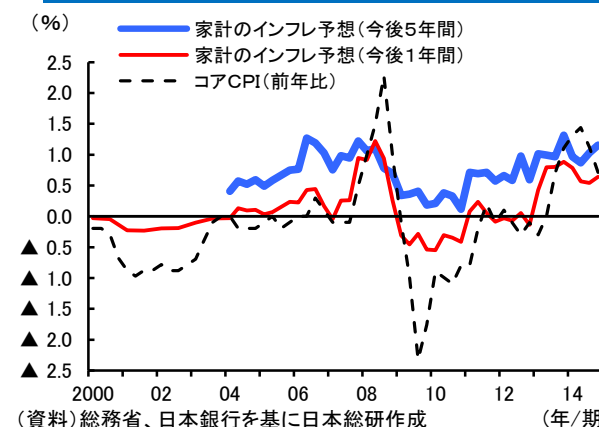
円安・原油安がコアCPIに与える影響



(資料)総務省、日本銀行を基に日本総研作成

(注)世界生産、名目実効為替レート、輸入原油価格(契約通貨ベース)、コアCPIの4変数(対数前期差)からなる構造VARモデルのインパルス応答関数を基に算出。構造VARモデルの推計には2000年1月以降のデータを使用。

CPIと家計のインフレ予想



(資料)総務省、日本銀行を基に日本総研作成

(注1)家計のインフレ予想は、「生活意識に関するアンケート調査」を用い、修正カルソン・パーキン法により推計。同調査は、2013年6月より消費税率引き上げの影響を除くベースで調査。

(注2)コアCPIは、消費税率引き上げの影響を除くベース。

自律拡大と原油安や政策効果などで景気は堅調に推移

現状

景気分析

見通し

金利動向

消費増税後の反動減やそれに伴う在庫調整は徐々に一巡へ。こうしたなか、①堅調な企業収益など良好な投資環境、②所得雇用環境の改善持続、③原油安や株高に伴うプラス効果、などを背景に、景気は持ち直し傾向が強まる見込み。

2015年度は、景気の自律拡大メカニズムが徐々に強まるなか、2014年度補正予算で打ち出された経済対策もプラスに作用し、景気は堅調に推移する見通し。

2016年度は、引き続き自律拡大メカニズムが作用する一方、①円安などを背景とする物価上昇の再加速を通じた実質所得の伸び悩み、②米中をはじめとする海外経済の成長鈍化、などが重石となり、年央にかけて成長率が鈍化する見込み。もっとも、年度後半は2017年4月の消費増税を前に駆け込み需要が発生し、景気を押し上げる見込み。

消費者物価は、足許原油価格の下落により当面伸び悩みが続く見込み。もっとも、円安がラグを伴うかたちで押し上げに作用し、2015年後半以降再び物価の騰勢が明確化する見通し。

わが国主要経済指標の予測値(2015年4月2日時点)

	2014年 10~12 (実績)	2015年				2016年				2017年 1~3	(四半期は前期比年率、%、%ポイント)			
		1~3 (予測)	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12		2013年度 (実績)	2014年度 (予測)	2015年度	2016年度
実質GDP	1.5	2.5	2.1	2.1	1.8	1.7	1.3	1.2	1.2	1.8	2.1	▲ 0.9	1.7	1.5
個人消費	2.0	1.8	1.4	1.3	1.3	1.2	0.8	0.8	1.3	3.4	2.5	▲ 2.9	1.5	1.2
住宅投資	▲ 4.6	3.8	3.7	4.2	4.0	3.9	2.0	2.3	4.2	4.6	9.3	▲ 12.0	0.8	3.2
設備投資	▲ 0.3	3.9	3.9	4.4	4.5	4.6	2.3	2.7	3.0	3.3	4.0	▲ 0.2	3.3	3.3
在庫投資 (寄与度)	(▲ 0.7)	(0.4)	(0.1)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.2)	(0.1)	(▲ 0.3)	(▲ 0.7)	(▲ 0.5)	(0.4)	(▲ 0.2)	(▲ 0.0)
政府消費	1.2	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.6	0.6	0.6	1.6	0.5	0.5	0.5
公共投資	3.3	▲ 1.9	1.5	1.3	▲ 0.8	0.0	0.0	▲ 0.5	▲ 1.0	▲ 1.2	10.3	2.8	0.9	▲ 0.3
純輸出 (寄与度)	(0.9)	(▲ 0.3)	(▲ 0.2)	(▲ 0.1)	(0.0)	(▲ 0.1)	(▲ 0.1)	(▲ 0.1)	(▲ 0.1)	(▲ 0.4)	(▲ 0.5)	(0.5)	(0.0)	(▲ 0.1)
輸出	11.5	4.4	4.4	4.6	4.7	4.7	4.5	4.2	4.2	4.2	4.7	7.2	5.4	4.4
輸入	5.3	4.8	4.4	4.4	4.0	4.4	4.3	4.1	4.0	5.1	6.7	3.1	4.5	4.3

名目GDP	1.6	2015年				2016年				2017年 1~3	(前年比、%)			
		1~3 (予測)	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12		2013年度 (実績)	2014年度 (予測)	2015年度	2016年度
GDPデフレーター	2.4	2.4	0.3	0.7	0.4	0.3	0.4	0.5	0.5	0.6	▲ 0.3	2.2	0.4	0.5
消費者物価 (除く生鮮)	2.7	2.2	0.3	0.6	1.0	1.2	1.4	1.2	1.3	1.4	0.8	2.9	0.8	1.3
(除く生鮮、消費税)	0.7	0.2	0.3	0.6	1.0	1.2	1.4	1.2	1.3	1.4	0.8	0.9	0.8	1.3
鉱工業生産	▲ 1.5	▲ 3.4	1.9	4.3	2.8	1.9	1.4	1.2	1.1	1.1	3.2	▲ 0.9	2.7	1.2

完全失業率 (%)	3.5	3.5	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.9	3.5	3.4	3.4
経常収支 (兆円)	1.45	3.21	1.38	2.77	1.22	3.79	1.61	2.79	1.21	4.01	0.83	6.65	9.16	9.62
対名目GDP比 (%)	1.1	2.6	1.1	2.3	0.9	3.0	1.3	2.2	0.9	3.1	0.2	1.4	1.8	1.9
円ドル相場 (円/ドル)	114	119	120	121	122	123	123	123	123	123	100	110	122	123
原油輸入価格 (ドル/バレル)	89	57	60	65	67	69	69	70	70	71	110	91	65	70

(資料)内閣府、総務省、経済産業省、財務省などを基に
日本総研作成

(注)2017年4月に消費税率引き上げ(8%→10%)が実施されると想定。

海外経済の前提

	2014年 (実績)	2015年		2016年
		(予測)	(予測)	
米国	2.4	2.9	2.8	
ユーロ圏	0.9	1.1	1.3	
中国	7.4	7.2	7.0	

過去の実質GDP予測値

	2013年度 (実績)	2014年度			2016年度
		(予測)	(予測)	(予測)	
1月号	2.1	▲ 0.7	1.6	1.5	
2月号	2.1	▲ 0.7	1.7	1.4	
3月号	2.1	▲ 0.8	1.7	1.4	

長期金利は横ばい圏での低位推移が続く見込み

現状

景気分析

見通し

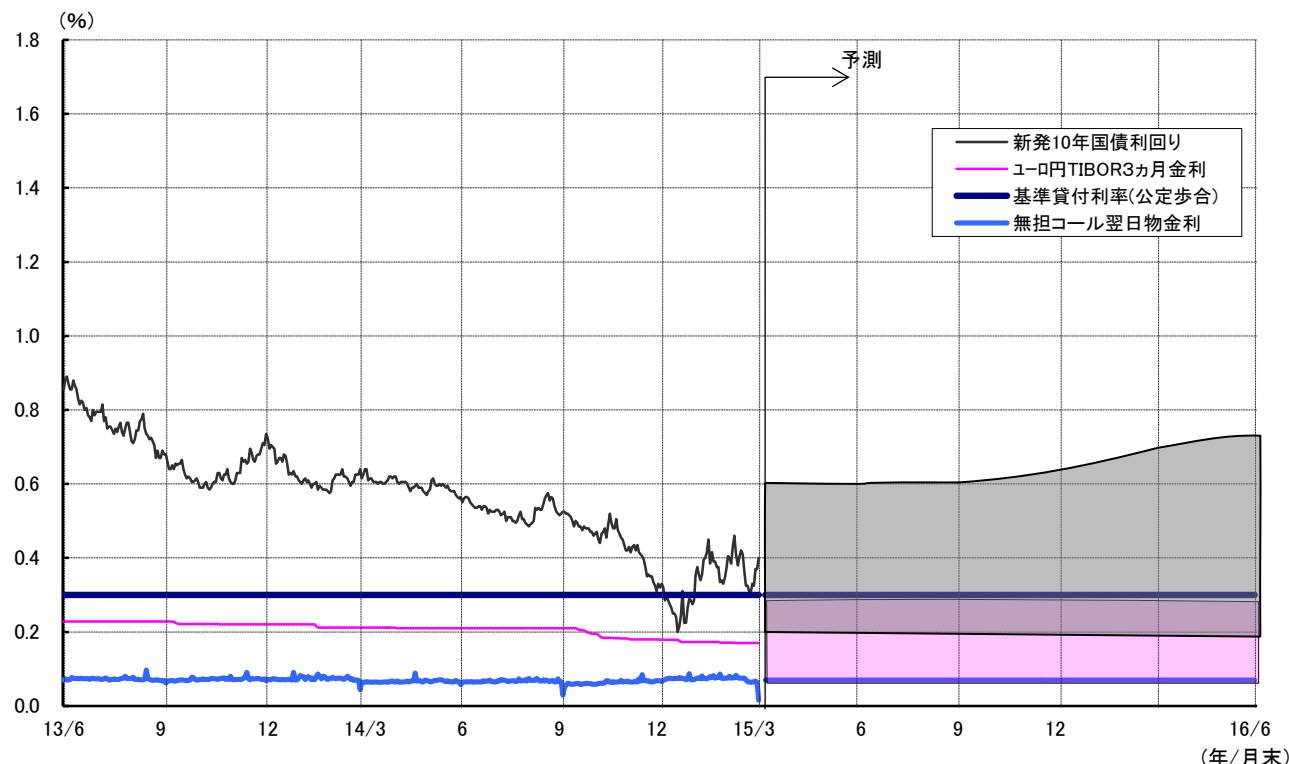
金利動向

日銀は、3月16、17日の定例会合で、マネタリーベースが年間約80兆円のペースで増加するよう金融市場調節を行う、という現状の金融政策の維持を決定。日銀は、原油価格の下落が物価を下押しするなかでも、インフレ期待や物価の基調的な動きは安定していると判断。原油安の影響が剥落するに従い消費者物価の伸びは前年比+2%に向けて高まるとの見通しを示しており、当面は、現状ペースでの資産買い入れを続ける見込み。

長期金利は、大幅な金利低下による債券価格の割高感や、株価の上昇などを受けた投資家のリスク回避姿勢の緩和が金利上昇に作用する局面がみられたものの、日銀の国債買い入れが恒常的に金利下押しに作用するなか、低位での推移が持続。

長期金利の先行きを展望すると、当面、低水準での推移が続く見込み。内外景気に不透明感が残るなか、日銀による中長期債の買い入れペースの拡大も需給面から金利低下に作用。もっとも、内外景気の先行き不透明感が払拭されていけば、米国金利の上昇や消費者物価の上昇期待などを背景に、金利上昇圧力が徐々に強まる可能性も。

わが国主要金利の見通し



	2014年			1~3	2015年			2016年	
	4~6	7~9	10~12		4~6	7~9	10~12	1~3	4~6
無担コール/N誘導目標	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
基準貸付利率(公定歩合)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
ユーロ円TIBOR3ヵ月物金利	0.21	0.21	0.19	0.17	0.18	0.18	0.20	0.20	0.20
円スワップ5年物金利	0.31	0.26	0.24	0.24	0.25	0.27	0.30	0.32	0.33
新発10年国債利回り	0.60	0.53	0.44	0.34	0.40	0.40	0.42	0.45	0.46

(注) 無担コール・基準貸付利率は末値。
その他は期中平均値。

予測

内外市場データ（月中平均）

	短期金利 無担0/N (%)	ユーロ (TIBOR)		円・円スワップ			国債		プライムレート		為替相場		株式相場		米国市場				欧州市場	
		3ヵ月 (%)	6ヵ月 (%)	2年 (%)	5年 (%)	10年物 (%)	2年物 (%)	10年物 (%)	短期 (%)	長期 (%)	¥/\$ (NY終値)	¥/Eur (NY終値)	日経平均 株価 (円)	TOPIX (ポイント)	F F 0/N (%)	ユーロ3ヵ月 (%)	10年国債 (%)	N Y ダウ 工業株 (ドル)	ユーロ3ヵ月 (%)	10年国債 (%)
11/8	0.09	0.33	0.44	0.33	0.46	1.02	0.14	1.03	1.48	1.40	77.05	110.46	9072.94	778.73	0.10	0.29	2.29	11326.62	1.55	2.25
11/9	0.09	0.33	0.43	0.34	0.45	0.99	0.14	1.01	1.48	1.39	76.86	105.70	8695.42	753.81	0.08	0.35	1.96	11175.45	1.54	1.87
11/10	0.10	0.33	0.43	0.35	0.47	1.01	0.15	1.01	1.48	1.40	76.68	105.26	8733.56	750.34	0.07	0.41	2.13	11515.93	1.58	2.04
11/11	0.09	0.33	0.43	0.37	0.47	0.99	0.13	0.99	1.48	1.40	77.54	105.09	8506.11	730.12	0.08	0.48	2.00	11804.33	1.49	1.95
11/12	0.09	0.33	0.43	0.38	0.49	1.00	0.14	1.01	1.48	1.40	77.84	102.35	8505.99	732.53	0.07	0.56	1.97	12075.68	1.43	1.99
12/1	0.09	0.33	0.43	0.37	0.47	0.98	0.13	0.98	1.48	1.40	76.93	99.33	8616.71	744.40	0.08	0.57	1.93	12550.89	1.22	1.86
12/2	0.10	0.33	0.44	0.35	0.46	0.98	0.12	0.97	1.48	1.40	78.60	104.06	9242.33	799.32	0.10	0.50	1.96	12889.05	1.05	1.90
12/3	0.09	0.33	0.44	0.35	0.49	1.04	0.12	1.01	1.48	1.36	82.55	109.07	9962.35	850.37	0.13	0.47	2.16	13079.47	0.86	1.88
12/4	0.09	0.33	0.44	0.35	0.45	0.98	0.11	0.95	1.48	1.35	81.27	106.99	9627.42	817.43	0.14	0.47	2.03	13030.75	0.74	1.73
12/5	0.10	0.33	0.44	0.35	0.43	0.89	0.11	0.86	1.48	1.31	79.68	101.90	8842.54	745.33	0.16	0.47	1.78	12721.08	0.69	1.46
12/6	0.09	0.33	0.44	0.34	0.40	0.84	0.10	0.84	1.48	1.30	79.35	99.57	8638.08	733.19	0.16	0.47	1.61	12544.90	0.66	1.43
12/7	0.10	0.33	0.43	0.30	0.36	0.77	0.10	0.78	1.48	1.26	78.98	97.09	8760.68	746.00	0.16	0.45	1.50	12814.10	0.50	1.31
12/8	0.10	0.33	0.43	0.30	0.37	0.81	0.10	0.80	1.48	1.25	78.68	97.59	8949.88	748.73	0.13	0.43	1.67	13134.90	0.33	1.42
12/9	0.09	0.33	0.43	0.29	0.36	0.80	0.10	0.80	1.48	1.25	78.16	100.62	8948.59	742.65	0.14	0.39	1.70	13418.50	0.25	1.55
12/10	0.10	0.33	0.43	0.26	0.33	0.78	0.10	0.77	1.48	1.25	79.01	102.47	8827.39	736.24	0.16	0.33	1.72	13380.65	0.21	1.52
12/11	0.10	0.32	0.42	0.26	0.31	0.75	0.10	0.74	1.48	1.21	81.05	104.07	9059.86	753.21	0.16	0.31	1.65	12896.44	0.19	1.39
12/12	0.10	0.32	0.41	0.22	0.28	0.77	0.10	0.74	1.48	1.20	83.91	110.16	9814.38	811.87	0.16	0.31	1.71	13144.18	0.19	1.36
13/1	0.10	0.30	0.40	0.21	0.30	0.80	0.09	0.78	1.48	1.20	89.10	118.53	10750.85	901.20	0.14	0.30	1.88	13615.32	0.21	1.56
13/2	0.10	0.28	0.38	0.21	0.29	0.79	0.04	0.75	1.48	1.16	93.13	124.24	11336.44	961.02	0.15	0.29	1.97	13967.33	0.22	1.60
13/3	0.09	0.25	0.35	0.22	0.28	0.72	0.05	0.61	1.48	1.15	94.87	122.92	12244.03	1028.55	0.14	0.28	1.94	14418.26	0.21	1.41
13/4	0.09	0.24	0.33	0.25	0.37	0.73	0.11	0.57	1.48	1.18	97.75	127.35	13224.06	1110.41	0.15	0.28	1.73	14675.91	0.21	1.25
13/5	0.09	0.23	0.33	0.27	0.48	0.92	0.13	0.77	1.48	1.24	100.99	131.05	14532.41	1203.38	0.11	0.27	1.92	15172.18	0.20	1.37
13/6	0.09	0.23	0.33	0.27	0.50	1.01	0.13	0.85	1.48	1.29	97.29	128.40	13106.62	1089.48	0.09	0.27	2.29	15035.75	0.21	1.62
13/7	0.08	0.23	0.33	0.27	0.48	1.01	0.13	0.83	1.48	1.33	99.64	130.47	14317.54	1186.91	0.09	0.27	2.56	15390.21	0.22	1.63
13/8	0.09	0.23	0.33	0.26	0.43	0.95	0.11	0.76	1.48	1.31	97.80	130.25	13726.66	1145.42	0.08	0.26	2.73	15195.35	0.23	1.80
13/9	0.09	0.23	0.33	0.26	0.42	0.91	0.11	0.72	1.48	1.30	99.19	132.53	14372.12	1185.18	0.08	0.25	2.80	15269.84	0.22	1.93
13/10	0.08	0.22	0.32	0.22	0.36	0.79	0.10	0.64	1.48	1.23	97.83	133.43	14329.02	1188.51	0.09	0.24	2.60	15289.29	0.23	1.81
13/11	0.09	0.22	0.32	0.21	0.35	0.78	0.10	0.61	1.48	1.20	100.11	135.13	14931.74	1222.90	0.08	0.24	2.71	15870.83	0.22	1.72
13/12	0.09	0.22	0.32	0.20	0.37	0.86	0.09	0.68	1.48	1.20	103.60	141.96	15655.23	1254.45	0.09	0.24	2.89	16095.77	0.27	1.85
14/1	0.09	0.22	0.32	0.21	0.36	0.87	0.09	0.68	1.48	1.24	103.88	141.51	15578.28	1275.17	0.07	0.24	2.85	16243.72	0.29	1.80
14/2	0.09	0.22	0.31	0.19	0.32	0.80	0.08	0.60	1.48	1.22	102.12	139.59	14617.57	1200.83	0.07	0.24	2.70	15958.44	0.29	1.66
14/3	0.08	0.21	0.31	0.19	0.32	0.80	0.08	0.62	1.48	1.20	102.36	141.52	14694.83	1190.57	0.08	0.23	2.72	16308.63	0.31	1.59
14/4	0.08	0.21	0.31	0.19	0.33	0.79	0.09	0.62	1.48	1.20	102.51	141.58	14475.33	1171.18	0.09	0.23	2.69	16399.50	0.33	1.53
14/5	0.09	0.21	0.30	0.19	0.32	0.77	0.09	0.60	1.48	1.20	101.84	139.85	14343.14	1174.62	0.09	0.23	2.55	16567.25	0.33	1.40
14/6	0.08	0.21	0.30	0.18	0.29	0.74	0.09	0.59	1.48	1.20	102.06	138.81	15131.80	1246.22	0.10	0.23	2.59	16843.75	0.24	1.35
14/7	0.08	0.21	0.30	0.17	0.26	0.68	0.07	0.55	1.48	1.17	101.75	137.74	15379.29	1275.72	0.09	0.23	2.53	16988.26	0.21	1.20
14/8	0.09	0.21	0.30	0.18	0.26	0.64	0.07	0.51	1.48	1.15	102.98	137.10	15358.70	1271.50	0.09	0.23	2.41	16775.15	0.19	1.02
14/9	0.09	0.21	0.30	0.17	0.27	0.66	0.07	0.54	1.48	1.15	107.39	138.46	15948.47	1313.29	0.09	0.23	2.52	17098.13	0.10	1.00
14/10	0.07	0.20	0.29	0.16	0.24	0.62	0.04	0.49	1.48	1.15	108.02	136.99	15394.11	1253.99	0.09	0.23	2.29	16701.87	0.08	0.88
14/11	0.08	0.18	0.27	0.16	0.26	0.62	0.02	0.47	1.48	1.15	116.40	145.21	17179.03	1385.33	0.09	0.23	2.32	17648.98	0.08	0.79
14/12	0.09	0.18	0.27	0.14	0.22	0.54	▲ 0.01	0.38	1.48	1.11	119.44	146.99	17541.69	1411.59	0.12	0.24	2.20	17754.24	0.08	0.64
15/1	0.09	0.18	0.26	0.14	0.21	0.47	▲ 0.02	0.28	1.48	1.06	118.33	137.63	17274.40	1389.14	0.11	0.25	1.88	17542.25	0.06	0.45
15/2	0.09	0.17	0.26	0.15	0.25	0.56	0.04	0.38	1.48	1.13	118.78	134.86	18053.20	1461.08	0.11	0.26	1.98	17945.41	0.05	0.35
15/3	0.09	0.17	0.25	0.15	0.26	0.55	0.02	0.38	1.48	1.15	120.37	130.33	19197.57	1553.83	0.11	0.27	2.04	17931.75	0.03	0.26